

No.	事業名	概要	現在の状況	課題・今後の計画
1	地域エネルギーマネジメントシステム (CEMS)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ エネルギーの効率的・効果的な利用を図るための中核となるシステム(CEMS)を構築 ◆ ICT(情報通信技術)を活用し、エネルギーの需給バランスをコントロール 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 詳細設計(H25年度) ○ CEMS製造(H26年度) ○ 各機器との連携試験・改造(H27年度) ○ 運用開始(H28.4.1～) 【構築事業終了】 	
	地域新電力(電力供給)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 地産地消のエネルギーマネジメントを実現するため、地産の再生可能エネルギーを地域の需要家に供給する事業(電力は東北電力系統線を利用) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事業開始(H28.4.1) ○ 津軽石発電所の電力を調達し、市内小中学校(28校)に地産電力を供給(H28.9.1～供給開始)⇒実現 ○ 電源調達量 <ul style="list-style-type: none"> H29.4-H30.3 13,103MWh(うち地産電源 1,403MWh) H30.4-H31.3 17,811MWh(うち地産電源 1,082MWh) H31.4-R2.3 18,465MWh(うち地産電源 990MWh) ※地産電源…津軽石太陽光発電所から調達した電気の事。 ○ 需要家数 公共151、民間42 合計193施設(R2.4月時点) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 供給先拡大の実現に向けた営業活動(契約電力目標 約10,000kw) ○ 田老発電所からの電力調達による地産エネルギーの供給実現(手続き協議中)
2	ビルエネルギーマネジメントシステム (BEMS)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 公共施設や民間施設等にBEMS(業務用省エネ機器)を設置する事業 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 2ヶ所設置(H28.3月) (図書館・やまびこ館) ○ 5ヶ所設置(H30.4月) (山口公民館・崎山貝塚縄文の森複合施設・浄土ヶ浜レストハウス・宮古市民体育館・宮古市総合福祉センター) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ H28.3月設置分はR3.4月、H30.4月設置分はR5.3月まで運用
3	給電設備	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 市内の道の駅や観光拠点を候補地とし、電気自動車等の給電設備を整備する事業 	<ul style="list-style-type: none"> ○ H28年度「次世代自動車充電インフラ整備促進事業費補助金」を活用し、道の駅3か所(道の駅たろう、道の駅みやこ、道の駅やまびこ館)に設置、運用開始(H29.2.1) ○ 使用状況 <ul style="list-style-type: none"> 458回(H29.4月～H30.3月) 949回(H30.4月～H31.3月) 1,214回(H31.4月～R2.3月) 【構築事業終了】 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 運用を開始した3か所の利用状況を確認
4	発電設備	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 大規模太陽光発電施設(メガソーラー)を設置する事業 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 津軽石発電所(1.6MW)運用開始(H27.9.15～) ○ 田老発電所(2.4MW)運用開始(H27.10.15～) ※運用開始時、新電力会社未設立のため、一時的措置として、東北電力へ売電。 ○ 発電実績 <ul style="list-style-type: none"> H29.4-H30.3 4,969MWh H30.4-H31.3 4,964MWh H31.4-R2.3 5,048MWh ○ 津軽石発電所は宮古新電力㈱への売電を開始(H28.9.1～) 【構築事業終了】 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 宮古新電力と連携し、再生可能エネルギーの地産地消(田老・津軽石発電所)の早期実現に努める。 ○ H31.4～R2.3の5,048MWhは、R1.5の連続好天により、H28年度に次ぐ高発電量になりました。
5	カーシェアリング	<ul style="list-style-type: none"> ◆ PHV(プラグインハイブリット)及び小型モビリティ(1～2人程度の小型電気自動車)を導入し、カーシェアリング(会員制の自動車共同利用サービス)を行う事業 ◆ 有事には、外部出力機能を活かし、防災拠点に電力供給する計画 	<ul style="list-style-type: none"> ○ H25～27年度: <ul style="list-style-type: none"> 《導入車両》 ・PHV10台(現在は6台) ・EV(電気自動車)3台 《整備ステーション》 ①大通二丁目 普通充電器1基(2口) ②宮古駅前 普通充電器1基(2口) ③宮古市役所 普通充電器1基(2口) ④和見町 急速充電器1基(2口) ⑤浄土ヶ浜PH 普通充電器1基(2口) (※⑤はホテル側で整備) 【構築事業終了】 ○ 事業開始(H26.4.1～) ○ 宮古市と災害防災協定締結(H26.4.1) ○ ワンウェイ方式(駅前⇄浄土ヶ浜PH)実施(H27.6.1～) ○ 浄土ヶ浜園地内カーシェア実証(H27.9.26～10月末)(H28から継続) ○ 宮古市役所庁舎移転に伴う市役所ステーションの移設(H30.10.1) ○ その他、利用促進策として、公用利用のカーシェア車両の休日における職員の個人利用実証、106急行バスと連携した商品開発などを実施 ○ プリウスPHV新車2台代替(H30.5) ○ タイムズ24、損害保険会社と業務契約(R1.6) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 稼働率向上に向けた積極的取り組みの実施